

事務連絡
平成 29 年 6 月 19 日

平成 29 年度神奈川県相談支援従事者
初任者研修受講者の皆様

かながわ障がいケアマネジメント
従事者ネットワーク

「平成 29 年度相談支援従事者初任者研修実習事例の概要」の提出について

当法人の障害保健福祉活動につきましては、日ごろから格別なご協力をいただき厚くお礼申し上げます。

さて、研修 4 日目「ケアマネジメントの実践」の中で、「実習事例の概要」を使用しますので、別添様式により、事前に作成し、研修 4 日目の受付時に提出をお願いいたします。

<提出書類>

- 別添の「平成 29 年度神奈川県相談支援従事者初任者研修 実習事例の概要」

<留意事項>

- 提出書類は 2 部用意し、研修 4 日目 受付の際に 1 部提出してください。1 部は研修中に使用しますので、各自でお持ちください。
- 提出がない場合には、研修を受講していただけませんので、十分ご注意ください。

<事例の選択にあたって>

- できる限り現在かかわっている在宅の事例とし、次のような視点で選択してください。
 - ・ 相談支援事業者として、サービス等利用計画対象者（または対象となりうる者）としてケアプランを立てている事例
 - ・ 通所事業所等で、通所利用者も含め、在宅障害者に関する相談と地域資源を使って生活を送っている事例
 - ・ 入所施設で短期入所事業を行っている場合は、短期利用に関連し、地域での支援を実践している事例
 - ・ 入所施設の場合、入所者の地域移行の実践に向けた事例
 - ・ 相談支援を行っていて、処遇困難と思われる事例

<記入上の注意>

- 「実習事例の概要」は、研修 5 日目に、各自が作成したアセスメント、ケア計画をグループ内で発表する時にも使用するので、1 枚を 5 分程度で読めるような分量でまとめてください。

(裏面もあります)

- 提出する事例については、利用者が特定されないよう配慮（氏名・関係機関等をイニシャルで記入するなど）するとともに、事例の提出について本人の同意を得てください。
- **グループ番号は、空欄のままで結構です。**
- 各項目の留意事項
 - 〈事例のタイトル〉
 - ・事例の概要や実習協力者、家族の状況やニーズなど一読して把握できるようにポイントを簡潔に記入してください。
 - 〈アセスメントの要約〉
 - ・アセスメントの結果を100字程度に要約してください。
 - 〈概要〉
 - ・これまでの相談・支援経過および現状、ニーズについて具体的に記入してください。
 - 〈手帳の種類と等級〉
 - ・複数所持している場合すべて記入してください。
 - 〈障害支援区分〉
 - ・障害支援区分を受けている場合は支援区分を記入してください。受けていない場合は、未申請か非該当か記入してください。
 - 〈家族構成〉
 - ・利用者を中心として家族・親族の構成をできるだけ図を使って記入してください。
 - ・年齢、職業、主たる介護者、キーパーソン等、利用者を取り巻く家庭環境として重要な情報を追記してください。
 - 〈社会関係図〉
 - ・利用者を中心として、支援に関わる関係機関、関係者をできるだけ図を使って記入してください。
 - ・公的機関だけでなくインフォーマルで関わりのある資源も記入してください。
 - 〈生活歴〉〈医療の状況〉
 - ・現在の状況に関連している情報に焦点を当てて記入してください。
 - 〈本人の主訴〉
 - ・生活課題等から整理された主訴等を簡潔に記入してください。記入の際、課題ではなく、意向・希望をできるだけ利用者本人の言葉や表現を使って記入してください。
 - 〈家族の主訴〉
 - ・誰の主訴かがわかるように記入してください。

※ 事例の概要について様式の電子データを希望される方は、KCN（かながわ障がいケアマネジメント従事者ネットワーク）のHPにてダウンロード可能です
[\(http://www.kcn.or.jp/\)](http://www.kcn.or.jp/)

<p>問い合わせ先 KCN 事務局 電話 046(220)5380 ファクシミリ 046(220)5381 E-mail run@kcn.or.jp</p>
--